



平成6年度 長崎県立鳴滝高等学校定時制昼間部



学校案内

“共に生きる 強く ひたむきに”

〒850-0011 長崎市鳴滝1-4-1

電話 095-820-0045

FAX 095-820-0070

<http://www2.news.ed.jp/section/narutaki-hiru/> →

問い合わせ先:教頭(吉田)・教務主任(橋本)



1. 鳴滝高等学校昼間部はこんな学校です。

(1) 様々な学力に応じた学びの提供

- ①学校設定科目の「Basic 国語」や「Basic 数学」を受講すれば、中学校の学習内容から学び直す事ができます。
- ②国語・英語・数学は基礎・標準・発展の3つの習熟度別授業のなかから自分に合った授業を受けられます。
- ③一人一人の学びに対応できるよう、多くの科目で10名前後の少人数授業体制をとっています。一部の科目では複数の教員で授業を行います(チーム・ティーチング)。

(2) 充実したサポート体制

- ①1年次では定員40名の学年を2クラスに分けて、それぞれの学級の人数を20名以下で編成しています。また、全学年で複数担任制を取っています。少人数クラスと複数の担任の視点で、きめ細やかな支援に取り組んでいます。
- ②特別支援教育支援員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、キャリアサポートスタッフなど、教員以外の専門のスタッフが充実しています。
- ③希望する生徒には「通級」による指導を行っています。自分自身を振り返り、学習面や生活面で困っていることを和らげる方法を学んでいきます。生徒一人一人に応じた学習内容を設定することができ、卒業に必要な単位としても認定されます。

(3) 多様な進路実現を支援

- ①2年次から、進路希望に応じて【4年制大学コース】と【就職・専門学校コース】に分かれます。
※【4年制大学コース】は大学受験を意識した科目を選択します。【就職・専門学校コース】は「フードデザイン」・「子どもの発達と保育」など特色ある授業を選択できます。
- ②進学希望者は、1年次から夏期補習、さらに3年次から放課後補習を受講することができます。また、有料になりますが対外模試なども受けることができます。

【過去3カ年の卒業状況と主な進路先】

4年制大学・短大

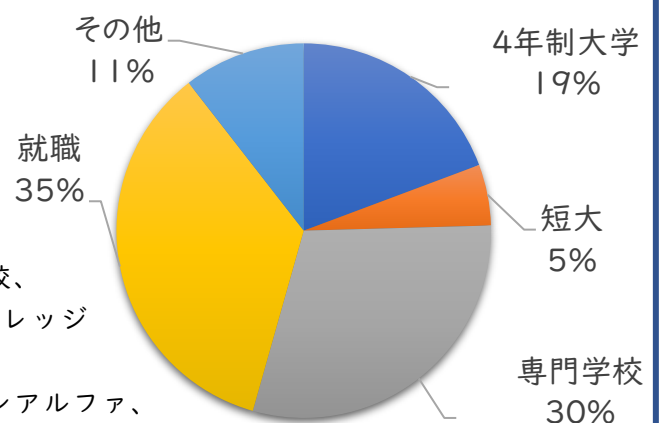
長崎純心大学 長崎総合科学大学、
活水女子大学、鎮西学院大学、日本大学、
長崎短期大学、佐賀女子短期大学

専門学校

長崎高等技術専門学校、長崎医療技術専門学校、
長崎こども専門学校、メトロ IT ビジネスカレッジ

就職

有限会社テイクオフ、(株)ジョイフルサンアルファ、
有限会社アクセスメディア、株式会社雲仙宮崎旅館、株式会社にしけい



(4) 単位制の学校

①卒業するために74単位以上の単位を修得する必要があります。

※1年間では最大29単位、3年間で最大87単位修得できます。

②留年はありません。ただし、必履修科目を履修できなかった場合、卒業までにその科目の単位を履修する必要があります。

※1年次の必履修科目を履修できなかった場合、2年次で再度その科目を受講します。

2. 鳴滝高等学校昼間部のQ&A

Q1. 学校は何時に始まり、何時に終了しますか？

A1. 日課は以下のとおりです。購買部がありませんので、昼食を準備してください。

SHR	8:30 ~	8:45	5校時	13:05 ~	13:50
1校時	8:50 ~	9:35	6校時	14:00 ~	14:45
2校時	9:45 ~	10:30	清掃	14:50 ~	15:05
3校時	10:40 ~	11:25	SHR	15:05 ~	15:10
4校時	11:35 ~	12:20	下校	15:10	
昼休み	12:20 ~	13:05			



Q2. 制服はありますか？

A2. 制服は定めていませんが、学校生活に相応しい端正な服装で登校してください。

Q3. アルバイトは出来ますか？

A3. 1年次生の夏休み以降、届け出を提出することでアルバイトを許可しています。

Q4. どんな部活動がありますか？

A4. 部活動は以下のとおりです。

【体育部】：男子バスケットボール、女子バレーボール
バドミントン、卓球

【文化部】：演劇、音楽、文化活動同好会

県定通体育大会で団体優勝した卓球部（令和5年度）→



Q5. どんな学校行事がありますか？

A5. おもな学校行事は以下のとおりです。他にも各学期に校内球技大会があります。

- 4月 入学式・新入生歓迎遠足
- 6月 県定通体育大会
- 10月 体育祭、職業体験（2年次）
- 11月 文化祭
- 12月 修学旅行（2年次）
- 3月 卒業式

文化祭→



3. 入学手数料・諸費用について

(1) 入学時に必要な経費（合計約57,000円）

①入学手数料（2,050円）

入学の際に入学手数料が必要です。入学式当日に現金でお支払いいただきます。

②諸納金（30,220円）

PTA会費等団体徴収金、生徒会費等学校徴収金などです。入学式当日に1年分を一括して現金でお支払いいただきます。

※2年次以降は、年度当初に銀行引き落としで現金でお支払いいただきます。

③実費徴収金（23,850円） ←金額は令和5年度のもので、変更になる場合もあります。体操服・体育館シューズと教科書・副教材の代金です。合格者登校日（後期選抜合格者発表直後の3月中旬）に購入していただきます。

※2年次以降は、教科書等の代金として約5,000円程度必要です。

(2) 授業料（年間46,980円）

①就学支援金制度を利用する場合

就学支援金制度の申請は入学時に行います。就学支援金制度の認定者は授業料を免除されます。

②就学支援金制度を利用しない場合

就学支援金制度の申請を行わない、もしくは就学支援金制度の申請が不認定となった場合、授業料は4月から6月までの3ヶ月分をまとめて6月に銀行引き落としでお支払いいただきます。7月以降は毎月ごとに銀行引き落としでお支払いいただきます。

※上記の金額は、年間29単位受講した場合の合計金額です。

(3) その他の費用

そのほかの費用として修学旅行積立や卒業アルバム等の費用がかかります。

卒業生から一言（令和5年3月昼間部卒業）

私が鳴滝高校に入って良かったことを3つ紹介させていただきます。まず1つ目は学び直しができるところです。私は中学生の時あまり学校に行くことができていませんでしたが、基礎クラスで授業を受けたので、国語・数学・英語を基本から学び直すことができました。

2つ目は通級の授業があったことです。私は人とコミュニケーションを取ることが苦手でした。通級の授業は少人数で行います。先生が作ってくれたプリントなどで楽しく学習しながら、人とのコミュニケーションや自己表現の仕方、感情のコントロールなどを学ぶことができました。

3つ目は生徒へのサポートが手厚いことです。勉強や進路についてわからないことや困ったことがあったら個別に先生が対応してくださいます。その他の相談事も、先生方やカウンセラーの方が親身に対応してくださいます。私はこの鳴滝高校で充実した学校生活を送ることができました。